

スーザンさんからの手紙

ながれ

スーザン・マーコット (ボストン在住)

私たちの旧友で、ハワイセミナーや日米合同研究でもご一緒したボストン在住のスーザンさんに、トランプ大統領就任にあたり、良識あるアメリカ人として、あなたは何を思うか、また科学者、教育者（MITで教鞭）そしてNGOでもあるあなたはこれから何をするのかについて書いてほしいと依頼。彼女はトランプのことを考えるのも書くのも嫌だが、私たちはアメリカ政治におけるこの恐ろしい展開を受け入れなければならないとして、次のような、率直な手紙を送ってくれました。

何を思うか？

気候変動に対して断固たる行動をとらなければならないこの重要な10年が、アメリカのリーダーシップにより無駄に費やされることに私は打ちのめされています。トランプは悪夢であり、私の生涯の中で最悪な大統領で、さらに言えば、アメリカ史上最悪の大統領だと言いたいです。彼は私が信じているもの、そして多くのアメリカ人が信じているものすべてと正反対です。私は常に無党派でしたが、民主党の価値観が私の価値観により近いと思い、いつも民主党に投票してきました。もしトランプがアメリカ史上最悪の大統領だとしたら、バイデンは、欠点はあるもののこれまでで最高の大統領の一人です。彼は完ぺきではなく、失敗もしました。しかしバイデンは、私たちの国では、あらゆる肌の色、白人、黒人、ヒスパニック、ネイティブアメリカン、移民など、誰もが平等に扱われるべきという信念に基づいて行動していました。だから、私の生涯で最高の大統領の一人だと思っています。バイデンは裕福なアメ

リカ人、貧しいアメリカ人、女性、LGBTQ、また米国の特定地域や一部の人々を差別しませんでした。実際、彼は共和党の州に多額の投資を行い、例えば、炭鉱労働者が太陽光発電設置者のような再生可能エネルギーシステムで新規の良い仕事に就くための訓練を受けることを支援しました。バイデンは私たちの国益について明確なビジョンを持ち、パリ協定、NATO、世界経済コミュニティにおける私たちの役割など、世界的なコミットメントを支持しました。また彼はウクライナ人の自己決定権と彼らの国境の正当性を支持しました。さらに、ワクチンの重要性を認識しただけでなく、科学をより一般的に高めることで、アメリカがコロナのパンデミックから抜け出すのを助け、またウイルスに国境がないことを認識し、貧困国へのワクチンやその他の医療サービスの提供にも多大な貢献をしました。そして脱化石燃料のビジョンを持ち、それをインフレ削減法で実現させました。彼は地球温暖化の科学を理解し、大統領としての権力を使って、火災、洪水、その他の異常気象により引き起こされる現在および将来の人間の苦しみや物的損害を回避するために、炭素排出量を削減しようとしてきました。（藤村注：彼女はバイデンに傾倒しているわけではなく、トランプと比較していかに良い政治を行ったかを言いたかったのだと思います。）

トランプは醜いアメリカ人

トランプは、金と権力がすべてである「醜いアメリカ人」と呼ばれるタイプのアメリカ人ですが、その一方で、トランプはアメリカの価値観の反対理論でもあります。彼の言動

を見ることは、暴力的なX指定の映画を見ているようなもので、スイッチを切って目を逸らしたいでしょう。しかし、目を逸らすのではなく、あくまで私の個人的な意見として、アメリカ史上最悪の大統領と思う一つの大きな理由をお伝えしたいと思います。

彼はアメリカの民主主義を信じていませんし、アメリカの憲法と法の支配を信じていません。彼は詐欺師で、嘘つきで、自分のお金と権力にしか興味がないのです。今回の選挙で多くのアメリカ人が彼を選んだことは衝撃的でした。しかし、今後トランプを選んだ彼らもまた苦しむことになると思うと、これらのアメリカ人を気の毒にも思います。

アメリカの民主主義

加藤さん、コノエさん、荒田さんはマサチューセッツのマーベルヘッドにある私の故郷に滞在したことがありますね。そこは395年もの間小さな海岸沿いの漁師町でした。現在の人口は2万人ですが、この町の人々は積極的にこの地の歴史を守ってきました。この町の人たちは独立戦争（1775-1783年）で戦い、そして亡くなった人もいます。市民の一人であるエルブリッジ・ゲリー（1744-1814）は独立宣言に署名しました（13の植民地から計56名がこの宣言に署名）。もう一人の市民であるジョン・グローバーと彼のマーブルヘッド連隊の水兵と兵士は、ジョージ・ワシントンがデラウェア川を渡ることを可能にし、戦争の敗北を勝利へと変えました。この勝利は、専制的な英国王の支配を打ち負かしました。アメリカ人は、イギリスの君主からの独立のために戦い、命を落とし、「すべての人は平等に創造され」そして王や独裁者によって支配されるべきではないという信念に命を捧げてきたのです。これがアメリカの民主主義です。

しかし、トランプが当選して以降、私のもとには危機感を露わにした多くのメールが届

いています。その一つ、森林保護活動をする小さなNGOからのものを紹介します。

「トランプ政権は最初の1カ月毎日のように、強権を発動し、恐ろしい人権無視、公衆の信頼の深刻な侵害、自然界への攻撃の激化など、新たな政策を追加しています。

金曜日、トランプ政権は約3,400人の森林局と1,000人の国立公園局の職員解雇を発表しました。これは、森林局が管理する重要な生態系を保護する能力が低下し、できる限り公有地を保護し回復しようとする私たちの活動がこれまで以上に重要になることを意味します。

今、私たち全員が、人権、住みやすい未来、機能的な民主主義のために、できる限りの手段で立ち上がり闘うことが求められています。」

科学者、教育者、NGOとして、何をなすべきと考えているか

アメリカの多くの人たちが反撃していると思います。科学者、教育者、NGOそしてさらに多くの人が私たちの重要な活動を継続しています。私たちは、より多くの真実、透明性、そして愛と民主主義につながる行動を守り、育成するために、私たちの時間と愛の全てを捧げています。すぐには起きないかもしれませんが、トランプは失敗するでしょう。悲しいことですが、この間に、多くの人が不必要な苦しみを味わうことになるでしょう。ですから、私たちの仕事は、できる限りこれらの人を癒し助けることです。

これを読んで下さった環境文明21の皆さん、ありがとうございます。私たちはきっと成功します。（事務局訳）



スーザンさんと夫・ラルフ氏